

## 各地域の取り組みについて

### 1 大津

#### 地域支え合い協議会（平成 28 年 12 月設置）

町内で買い物支援サービスを実施していたボランティア団体の代表者をお呼びした。活動の経緯や大切にしてきた想い、そこから見えてきたもの等の説明を受けて、質疑応答を行った。

構成員の役割としては、地域の小さな活動を探し出し協議会の定例会へ繋ぐような役割を担うこと、そしてその活動を協議会として後方支援していくことを再確認した。

#### 地域の動き

支え合い実践研修を 10/17、10/27 の 2 日間実施した。市民の参加は 42 名。多くの方が組織に属する人であり、役が就いていない人に対して、どのように関心を寄せてもらうか、課題として残った。

### 2 追浜

#### 地域支え合い協議会（平成 29 年 2 月設置）

ちょっとした困りごとを民生委員が担っていることが多い。町内・自治会長へ「誰か手伝ってもらえませんか」と伝えていかなければいけない。その手段として、アンケートを作成し、地域住民がどのようなことに困っているのか、どのようなことを必要にしているのかを明確化していくことで意見が一致した。

### 3 田浦

#### 地域支え合い協議会（平成 29 年 12 月設置）

町内会のアンケート結果から、3 地域（船越・田浦・長浦）で行われている活動が見えてきた。支える側にも、支えられる側にとっても、このような活動があるなら参加出来るかもしれないと参考になるような、「活動事例集」を作成していくことで意見が一致した。また、あわせて「実態把握」「人材育成」についても小部会を設置して検討していくこととした。

#### 地域の動き

支え合い実践研修を令和 2 年 1/29、2/4 に実施予定。支え合い協議会の構成員からは、「いつも一緒の人が来ることになる」との意見が多々あった。

## 4 浦賀

### 地域支え合い協議会（平成 30 年 5 月設置）

お助け隊を全ての町内会で立ち上げるために、令和 2 年 2 月に講演会開催を計画している。無理なく取り組める活動に限定することを、明確に打ち出している。活動の安全を確保することのみならず、大変そうに見えないことが、次に続く支え手が出てくるとの期待を込め、企画を進めている。

### 地域の動き

支え合い団体から、ベッドからの転落や、停電で介護ベッドが水平に戻らないなどで、お助け隊に救援要請が夜間に入り悩ましい、という相談があった。

## 5 北下浦

### 地域支え合い協議会（平成 31 年 3 月設置）

どのような支え合いがあるのかを把握することで、今後の進め方を探っている。アンケート調査を実施することとし、その内容や依頼先について検討している。

通いの場は相当数存在しているが、生活支援は少ないと思われる。

## 6 久里浜

### 地域支え合い協議会（平成 31 年 4 月設置）

1 町内だけでは解決出来ないことが、今後増えていくことが予想される。まずは、既にある 17 のボランティアチームを通して、人と人が助け合う大切さを地域に伝えていくことが大切という意見で一致した。

協議会では、若い世代も巻き込みながら、より多くの人々が久里浜地域のことを考える仕組み作りの方法を検討していく。